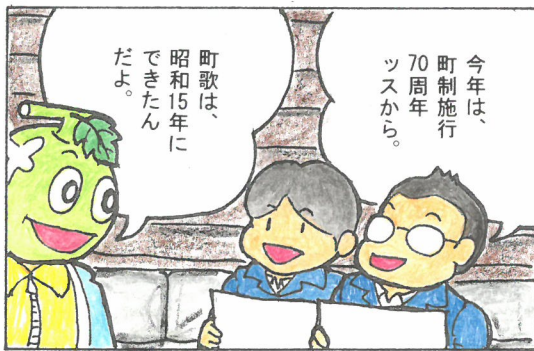
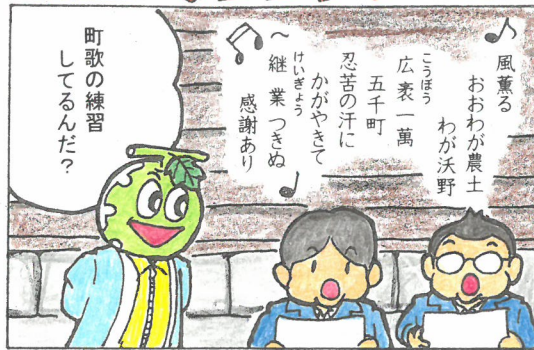


月形町歌
作詩 松実 菱三
作曲 松田喜一

ベルデの
つきがた
グラフィティ

ベルデくん



作
SのAて3う

② 月形の 名にぞて気負へ 高々と
町是に掲ぐ 大理想 揺るがぬ決意
松の緑と いや競う 田山の

③ 雲青し やまさらのさち 山幸野幸 豊稜の 恵風そよぐ 美し町 須部都の流れ 澄む極み 樺戸の誇り 胸に生く

④ 睦み合う 町人一に 真心を 捧げて築く はえ 自治の米 心田深く 耕やしつ 希望の朝を いざいかん

月形村は、昭和28年に町となり、今年町制施行70周年を迎えます。
月形町歌は、それより13年前の昭和15年開村60周年の時にできました。
歌詞は4番まであって、今となつては難しい表現も含まれていますが、背景にあるのは、鉄道が開業するなど交通網の整備が始まり、人口も増加中、人が活発に動き始めた頃のことでした。
途中戦争もあり、しばらくクローズアップされてきませんでした。ここ十数年間は、物故者追悼式や式典などで歌い継がれ、現在は、町内にお屋を知らせるチャムのメロディにも使われています。